



あかど

荒川区立赤土小学校
学校便り 9月号
令和5年 9月1日
校長 石塚 秀行
<http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/AKADO-E/>

教育目標

- よく考え、実行する子
- 思いやりのある子
- 元気な子

2学期もよろしくお祈いします

校長 石塚 秀行

長い夏休み、夏休みならではの経験を積むことはできましたでしょうか。自然や歴史、人、文学、スポーツ、出会ったことや体験したことは心を耕してくれます。私は、壺井栄の故郷である小豆島の二十四の瞳岬の分教所や旧金毘羅大芝居金丸座(琴平)、子規記念博物館(道後)を回ってきました。タイムスリップした感覚を現地で味わい、その土地の人々に触れることもできて、貴重な体験になりました。知りたいことはSNSで調べればほとんどのことが分かりますが、実感として残ることは少ないと思います。体験して五感で感じたことを心に残し、心を豊かにしていくことの大切さを改めて実感しました。



4年生は7月23日から25日まで、下田臨海学園に行ってきました。天候に恵まれた2泊3日でした。輝く太陽の下での遊泳や花火、夜空に輝くたくさんの星・・・、素敵な思い出を作ることができたことと思います。楽しい時間

を過ごすためには、我慢しなければならぬことがあることも理解しました。帰りの電車を待っている下田駅で、「6年生の下田移動教室と違ってお土産は買えないけど、ナップザックの中に下田の空気が入っている。」と言った子供がいました。仲間と過ごした下田での生活が、かけがえのない思い出となってくれたのかなと嬉しくなりました。

また、7月22日より2週間、赤土小学校校庭でラジオ体操を行いました。4年ぶりに開かれたラジオ体操には、毎日多くの子供たちやご家族の方が参加していました。規則正しい生活というねらいもありますが、朝早く家族で参加し、友達と会うというのもよい思い出になったことと思います。赤土小学校地区ラジオ体操会の皆様、PTA 厚生委員の皆様ありがとうございました。



町会では盆踊りや子供神輿等が4年ぶりに開催され、多くの方々に賑わっていました。夏休みの間、改めて子供たちが地域の中で育つことを実感した方も多いのではないのでしょうか。

コロナが明けて、堰を切ったようにイベントが開かれ、子供たちの笑顔も様々な場面で見られるようになりました。2学期も学校やPTAの行事があります。よく学び、よく遊び、多くのことを吸収し成長して欲しいと思います。子供たちの笑顔のために今学期も教職員一丸となって教育活動を進めてまいります。保護者、地域の皆様、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

